

令和5年11月10日

京都鞍馬口医療センター 第11回地域連絡協議会 議事概要

日時 令和5年11月10日(金) 14:00 ~14:40

出席者	上京東部医師会 会長	飯田 明男 先生
	京都北医師会 会長	小仲 良平 先生
	北区役所健康福祉部健康長寿推進課 担当課長	永井 弓子 様
	紫明社会福祉協議会 会長	柴山 泰朗 様
	利用者代表	山田 友恵 様

(京都鞍馬口医療センター)

院長	水野 敏樹
副院長	山崎 正貴
副院長	山下 哲郎
統括診療部長	淵田 真一
看護部長	松原 栄子
副看護部長	酒井 美枝
総務企画課長	足立 拓也

1. 開催の挨拶(水野院長)

当院で地域の開業医の先生方、地域の介護、福祉の方との連携に力を入れていく体制として地域医療連携センターを立ち上げたこと。

コロナ5類以降後の体制、これから冬に向けての感染症の対応に関すること。

について活動状況報告で説明させていただきます。

また、回復期リハビリ病棟の立ち上げを計画している。詳細が決まった段階でご説明させていただきます。本日は忌憚のない意見をいただければと思います。

## 2. 委員（出席者）紹介

名簿の通り

## 3. 活動状況報告等 ※詳細：別紙参照

- ①「地域医療連携センターの開設について」（淵田診療統括部長）
- ②「当院における新型コロナウイルス感染患者の対応」（山崎副院長）
- ③「市民公開講座の開催状況について」（足立総務企画課長）

## 4. 意見交換

飯田）コロナに関し、数的には京都市内でも定点観測上少なくなつてとの報告があるが、患者側から見たお見舞いの制限に関しお伺いしたい。10月2日から第一日赤がお見舞いに関し完全フリーに戻している。5類になったということ踏まえ今後のお見舞いの緩和の方向性について教えていただきたい。都道府県によっても温度差はあり、大阪府では市長の黄色、レッド、青といったサインにより緩和を決めているところもあると聞いたことがある。

もう一点、来年から始まる医師の働き方改革に関し、特に今危惧されているのは一般的な地域医療体制の確保、特に救急医療体制がどうなるのかというのが、地域の方も懸念されている。第一日赤の救急センター長からは、ICU勤務者の勤怠管理が難しいと聞いた。貴院での医療提供体制についてお聞かせいただきたい。

松原）面会緩和の件については、一定の条件の方で事前予約制をとっているのが現状。地域や病院ごとの対応は施設によって様々であり、当院でも荷物の受け渡しから検討をしている。本来であれば患者さんや家族のことを考えると緩和したいのは山々ではあるが、入院後コロナ陽性が判明する方や持ち込みと思われるような事例も過去経験しているので免疫力の落ちた患者さんのことを考えると面会はセーブしていきたい。また、当院の建物構造上一斉に面会をフリーにすると面会者が押し寄せた時に、コントロールが難しい状況となる。今後の感染状況を踏まえ、段階的に検討することとなる。地域包括ケア病棟の入院患者さんに関

しては、緩められるのではと考えている。貴重なご意見ありがとうございました。

水野) 働き方改革については、当院はA水準、月 80 時間、年間 960 時間以内の時間外勤務、21 時～翌 8 時 30 分までの宿直として労基の許可を取っている。

当院の宿直体制は内科医のみ、夕方 17 時 15 分～20 時までの時間帯は外科系医師も残っているので、20 時までの時間帯で積極的に救急患者さんを受入れられる体制をとらせてもらっている。20 時以降は内科医のみとなるので救急に対する人員配置というのは厳しい部分はある。当院かかりつけ患者さんや訪問看護ステーションの患者さんから受診要請があれば、必ず受入れる体制をとっている。第二日赤では、複数名の医師が当直しており、専門分野も各科に渡っているので救急を受け入れるキャパシティに違いはあるが、出来る限る地域の先生方や患者さんが安心して来院できる受入れ体制を進めているのが現状。

飯田) 大学側も引き剥がしがおそらく起こると思います。輪番制を引いている病院等の救急の質ないしボリュームもかなり落ちるかとおもいますので、今後ともよろしくをお願いします。

永井) コロナ禍において、患者さんを受入れいただき本当にありがとうございます。行政側も大変助かっております。

令和 5 年度の市民公開講座に関し参加人数が少ないとお聞きしました。何名くらいの参加者がいるのか、またどのような広報を行っているのかお伺いしたい。

足立) 市民公開講座の参加人数は 5～10 名程度となっております。

広報の方法は、柴山様、山田様にもご協力いただき地域住民の皆様への回覧と院内掲示物でお知らせしております。

永井) 区役所の方にチラシを置くこともできるかと思いますのでご利用いただければと思います。

柴山) 名簿にあるとおり社会福祉協議会会長と保健協議会の会長もやらせてもらっています。市民公開講座のチラシに関し紫明学区 40 か所あり、回覧という形で

250部を町内回覧しています。参加人数が少なく残念に思います。区役所にも置いていただけるとのことですのでそちらも活用して広報いただければと思います。紫明学区だけでなく室町学区もある。市民公開講座に関しては、待ち焦がれ、楽しみにしていた。町内の保健委員の方へ声掛けして参加を呼びかけたりしていたが、寂しい参加人数で残念な結果かなと思う。テーマも普通の患者が聞いて分かりやすい話、聞きたいような話で進めていただきたい。裏方としてバックアップ、協力していきたいと思う。

もう1つ、社会福祉に関係することで悩んでおられる方々がおられ、貴院で1階に医療福祉相談室、がん相談支援室、患者相談窓口を作られたということなので福祉に関する相談事がある際には鞍馬口医療センターに行けばいいという理解で間違いないですよ。北区社会福祉事務所があり、住民の方はそこへ相談に行くことが多いと思う。近くの大きな病院にも相談できる窓口があることを知らせておきます。連携は非常にいいことと思うので、この学区を含めて喜ばれるのでよろしくをお願いします。

山田) 市民公開講座全てに参加しているが、立派な先生方、会場を準備してもらっているが、時に難しい話もあった。参加者が寂しくどうすれば1人でも多く参加してもらえるように広報に力をいれていただきたい。難しい話だけでなく、時には体を使って立ったり座ったりすることをやってみたりすると、気分がほどけて楽しかった、また参加したいと思うような工夫もいれてもらいたい。

足立) 貴重なご意見ありがとうございます。市民公開講座の広報方法について、北区役所へのチラシ設置依頼や、室町学区へのチラシ回覧を検討させていただきます。講演テーマにつきましても聞きやすいテーマを選ぶことも検討いたします。

##### 5. 閉会の挨拶（山下副院長）

以上